

校舎 壁ぴかぴか

千葉 児童ら塗装体験



塗装職人の指導で校舎内の壁を塗り直す児童ら

老朽化した校舎内の壁を塗り直すボランティアイベント「ぴかぴか大作戦」が千葉市立生浜西小で行われ、夏休み中の児童や保護者らがプロの塗装職人と一緒にペンキ塗りを体験した。

全国の塗装業者らでつくるNPO法人「塗魂ペインターズ」主催。同校は外壁の塗装工事を行ったが、校舎内の壁はペンキの剥がれやコンクリート面の陥没が残り、森山静香校長は「剥がれたペンキ片で児童がけがをする危険もあり、着任以来、改善を考えていた」という。

同団体と懇意のPTA関係者があり、イベント開催につながった。千葉支部長の瀬川巧平さん(48)は「校長自らが塗り直そうと考えたことで、その意気込みになんとか力になりたかった」と話した。

イベントは8月28日から3日間行われ、延べ職人45人と保護者36人、児童43人

が参加した。材料費を含めすべて無償で、職人が事前に下地処理を行い、児童らははけやローラーで仕上げ塗りをした。
6年生の城戸彩花さん(12)は「自分たちの学校を自分できれいにできてうれしい。卒業前のいい記念になった」と笑顔だった。